

部局名	都市整備部	所属名	公園緑地課	所属長名	古木 明良	電 話	483-1151 内線3230
-----	-------	-----	-------	------	-------	-----	-----------------

1. 事務事業の位置付け・概要（PLAN）

コード	4073		事務事業名称	体育施設管理事業						短縮コード	経常	4073	臨時	4074
予算区分	会計	01	一般会計	款	10	教育費	項	06	保健体育費	目	02	体育施設運営費		
区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他				根拠法令等		八千代市都市公園条例							
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）														
平成15年6月13日交付された地方自治法の一部を改正する法律において、公の施設の管理委託制度が廃止され、指定管理者制度が導入されました。 都市公園内の有料公園施設の管理運営について、管理運営の効率化（経費の削減）と多様な市民ニーズへの迅速な対応という観点から指定管理者制度を導入しました。														
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測					総合計画の施策体系	5本の柱（章）	02	人間尊重都市をめざして						
基本目標 ①施設利用時間の拡大（利用時間の延長）を図ります。 ②施設運営に係わる利用者の利便性の向上に努めます。						大項目（節）	02	生涯学習						
						中 項 目	03	スポーツ・レクリエーション						
						小項目（施策）	02	スポーツ・レクリエーション施設の整備						
						細 項 目	01	体育施設の整備と活用						
						実施計画の計画事業								
計画事業の位置付けの有無				☐	計画事業期間		昭和47年12月 ～			計画事業費		千円		

2. 事務事業の目的・指標・実績（DO）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	全市民 自由時間の増加や高齢化の進行に伴い、生涯学習、健康維持、人とのふれあいといった観点から、スポーツ・レクリエーション活動への関心が高まっています。									
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成20年度に実際に行ったこと： 地方自治法の一部を改正する法律の施行により、有料公園施設の管理運営を指定管理者に委託（継続3年目）しております。									
	※平成21年度に計画していること： ①指定管理者2回目の指定（平成21年4月1日～平成24年3月31日）を行いました。 ②管理運営させる施設の老朽化が顕著であり、止む無く施設利用の休止や、廃止が見込まれる状況にあります。財政的な事情から抜本的な対策は困難な状況にあることから、当面は、施設の部分的な修繕を行いながら施設管理を行ってまいります。									
意図 （何を狙っているのか）	全ての市民が、生涯にわたってスポーツに親しめる環境を整備します。									
結果 （どんな結果に結びつけるのか）	入力対象外									
区 分					単位	19年度	20年度		21年度	
						実績	計画	実績	計画	
対象指標	指標1	市民体育館利用者数	人	128,375	130,000	147,798	147,000			
	指標2	野球場利用者数	人	36,219	40,000	37,664	37,000			
	指標3	水泳場利用者数	人	17,878	0	0	0			
活動指標	指標1	市民体育館利用者数	人	128,375	130,000	147,798	147,000			
	指標2	野球場利用者数	人	36,219	40,000	37,664	37,000			
	指標3	庭球場利用者数	人	64,288	70,000	65,358	65,000			
成果指標	指標1	市民体育館利用者数	人	128,325	130,000	147,798	147,000			
	指標2	野球場利用者数	人	36,219	40,000	37,664	37,000			
	指標3	庭球場利用者数	人	64,288	70,000	65,358	65,000			
上位成果指標	指標1									
	指標2									
	指標3									

コード	4073	事務事業名称	体育施設管理事業				所属名	公園緑地課
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☒ 改革・改善して継続			施設の老朽化に伴う安全性確保の観点から、現在休止している施設の今後のあり方については市民の声を反映し、再建には施設使用料の見直しや、現在「管理運営者制度」以外の手法も検討してまいります。			
		☒ 手法プロセスの改革・改善						
		☐ 事業規模の拡大・縮小						
		☐ 統合・役割見直し						
	☐ その他							
☐ 廃止(事業完了含む)								
☐ 休止								
☐ 現状のまま継続								
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			休止している施設や老朽化している各施設の改修、再生には多額の資金確保が必要となります。	
				削 減	不 変	増 加		
		成 果	向 上	☐	☐	☒		
			不 変	☐	☐	☐		
低 下	☐		☐	☐				

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など									
・施設の老朽化が進み、休止する施設が出てきました。定年退職などにより、自由な時間を過ごす市民が多くなることから、今後施設の再整備の要望が あります。今後、既存施設以外の施設利用も念頭において検討していくことも肝要かとおもわれます。 ・指定管理者の評価制度の検討が必要とおもわれます。									

所属長コメント	老朽化により一部休止施設がある現在、進められている都市再生事業の中にこれら施設の改修、再生を取り入れていくと共に、スポーツ・レクリエーション構想に示された方向性をもって、新規又改修計画を具体化していく考えです。								
評価調整委員会評価	☒ 改革改善して継続			老朽化した施設等については、存廃を含めて今後の運用方針を検討すべき。					
	☒ 手法プロセスの改革・改善								
	☐ 事業規模の拡大・縮小								
	☐ 統合・役割見直し								
☐ その他									
☐ 廃止(事業完了含む)									
☐ 休止									
☐ 現状のまま継続									